

<p>名称</p>	<p>カーボンフットプリントって何だろう？</p>
<p>事業の目的</p>	<p>この事業は、中学生を対象として、カーボンフットプリントに対する理解促進を図ることを目的にしています。川崎市立中学校「連合文化祭」(多摩・麻生地区)において、三信化工株式会社様のご協力の下、カーボンフットプリントを題材にしたワークショップ「カーボンフットプリントって何だろう？」を行いました。</p>
<p>日時</p>	<p>平成 23 年 10 月 26 日(水) 15:00～16:00</p>
<p>場所</p>	<p>川崎市立西生田中学校</p>
<p>参加対象者</p>	<p>生徒(中学 1～3 年生)18 名、4 グループ(4～5 名×4 グループ)</p>
<p>プログラム実施の様</p>	<p>プログラム:「カーボンフットプリントって何だろう？」 食器の一生をたどるすごろくを通じて、食器の一生の過ごし方が変わると CO₂ 排出量が変わることを知り、品物の一生と CO₂ が出る場面を考え、カーボンフットプリントの意味を学びます。すごろくと共に、カーボンフットプリントマークの付いた製品を実際に見たり、カーボンフットプリントを実際に算出した事業者と対話したりすることなどを行います。</p>
	<p>導入 ・本時のねらいと、地球温暖化と CO₂ の関係を確認します。</p>
	<p>ステップ1:グループワーク「品物の一生を足跡で考えるすごろく」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごろくのルールと、食器の一生の出来事の概要を説明します。 ・すごろくを行います。コマが停まったマスの出来事カード、チップ(出来事に対応する CO₂ 排出量)を集めます。 ・各班で、チップ(CO₂)が多い 2 名と少ない 2 名を決めます。 ・各班から選ばれた 4 名は手持ちの出来事カードを黒板に貼ります。チップが多いチームと少ないチームに分けて出来事カードを貼り、その傾向を考えます。 ・各班で選ばれた 4 名のチップをそれぞれ積み重ねて、黒板の前に集めます。「つくる、使う、捨てる・リサイクル」の3つのステージで色分けされたチップについて、どのステージのチップ(CO₂)が多いのか、少ないのか、傾向を考えます。
	<p>ステップ2:説明「カーボンフットプリントマークを表示している企業の人のお話」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンフットプリントを実際に算出して、食器にカーボンフットプリントマークを表示している三信化工(株)から、食器の一生(現場の様子を含む)について、DVD を使って説明します。 ・ステップ 1 で集めて考えた、出来事カードとチップの傾向(品物の一生と CO₂ が出る場面)について、解説します。
	<p>ステップ3:まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな品物のカーボンフットプリントマークを見ます。 ・電気を使う時に出る CO₂ と電気を使わなくても品物の一生の中で出る CO₂(CFP で見える化できること)を確認します。



	<ul style="list-style-type: none"> ・だれかに教えたいことをメッセージカードに記入します。
<p>参加者の感想</p>	<p>だれかに教えたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食器を作ったり、使っている時にも CO₂ が多く出ていること。 ・ふだん使っている「食器」も環境問題に深く関わっているということ。 ・身近にある物でも、つくるときは、たくさんの二酸化炭素がでていうこと。 ・物を使う時にも二酸化炭素が出ているということ。身近な物すべてから出ていること。 ・焼き物も CO₂ は出ること。 ・カーボンフットプリントにはマークがあり、いろんな商品についていること。家族に伝えたいです。 ・カーボン＝炭素、フットプリント＝足(あと)を省エネや環境問題に興味がない人に伝えたいです。 ・物を作るだけでもたくさん CO₂ が出ること。 ・食器をくりかえし使う事で CO₂ をおさえることができるということ。 ・食器をつくる時にも二酸化炭素が多く出ていること。 ・カーボンフットプリントのマークをついた物を買えばエコにつながるということ。 ・食器を何度も使う・リサイクルすれば、CO₂ も少なく、環境に良いという事。 ・おちゃわん一つで発生する CO₂ はけっこうあるから、おちゃわんだけでなく、他の物もたいせつにあつかってほしい。 ・身近で作ってるもの全てに沢山の CO₂ が出ていることを同級生に伝えたい。 ・カーボンフットプリントは温暖化にとっても関係していて身近な商品にこのマークがあること。 ・皿を熱い温度で焼くこと。 ・カーボンフットプリントを見ることで、そのものの一生で発生する二酸化炭素がわかるということ。